

※ 外部意見の反映

幕別町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の報告書に対する主な意見

本報告書を作成するにあたり、点検及び評価の客観性を確保する観点から、知見の活用として町長部局の部長職等から聴取した主な意見は次のとおりである。

- 報告書の中に児童生徒の活動の様子などの写真を盛り込んではいかがか。
- 「第1章－6 付属機関等の活動状況について」など、各委員会について出席率の項目を追加してはいかがか。
- 第2章25ページの点検・評価書「整理番号13」の主要施策「施設機能の充実」について、これまで本町の図書館運営は「読書活動指導計画」など特筆に値する。加えてこのところの“町民の読書に対する興味関心の高揚”のための自由な発想でのきめ細かな取り組みは素晴らしい。
- 第2章27ページの点検・評価書「整理番号15」の主要施策「幼児教育の充実」における事業「幼・保・小の連携」について、36ページの「整理番号24」の主要施策「小中学校教育の充実」と関連し、連携体制について触れることも有効かと思う。
- 第2章32ページの点検・評価書「整理番号20」の主要施策「小中学校教育の充実」における事業「体験学習の充実」について、地域を知る学習として、地域と協力してしごと体験などキャリア教育を取り入れて、より地域と連携して行うことが望ましい。
- 第2章49ページの点検・評価書「整理番号35」の主要施策「高等学校教育の充実」において、町内の2つの高校同士の連携や、地域課題解決型キャリア教育などにおける地域、行政、高校の連携等を推進していくことが高校存続のためにも必要と考える。
- 平成27年度に「幕別町後期中等教育を考える懇話会」を設置したことを受けて、さらに発展的に次なる審議を深めていくことを希望する。
- 第2章の点検・評価書の「事業の推進状況」の中で、「今後の課題」と「今後の対応」を混同している記述が見受けられる。事業主体として、事業内容を理解した上で課題を見出し、よく検討したうえでより良い事業（今後の対応）に練り上げていただきたい。効果がない事業については廃止を検討することも時には必要と考える。